



令和8年度

板橋区立緑小学校 学校経営方針

板橋区立緑小学校 校長 市之瀬 輝明

☆ FLC（志村第四中学校）学びのエリアの教育目標

【学びのエリアが目指す子ども像】

- よく考え進んで学ぶ子ども
- 心豊かで思いやりのある子ども
- ねばり強くたくましい子ども

☆学校教育目標

【思いやりのある子】

人との関わりを大切にし、共に活動し成長する児童の育成 「徳育」

【よく考え、最後までやりぬく子】

見通しをもって最後まで努力する児童の育成 「知育」

【健康でたくましい子】

心身共に健康でたくましい児童の育成 「体育」

☆めざす児童像

- ・自分のことは自分でする児童
- ・人のため、社会のためになることを進んでする児童
- ・人の話に耳を傾け、力を合わせて問題を解決する児童
- ・自分と家族、緑小学校そして自分の住む板橋を愛する児童

～いたばしを語れる子に～

※「人との関わり」を軸に集団生活に必要な規律・規範意識及び思いやりの精神を全児童に身に付けさせるとともに、人として最も大切である自他の生命を尊重する態度と人権尊重の精神及び感謝する態度の育成を全ての教育活動の根幹とし、全教職員が「チーム緑小」として一致団結して取り組んでいきます。

☆教育目標達成のための基本方針

(1)【思いやりのある子】を育てる

- ◎「緑の子スタンダード」を共有し、児童の規範意識を高めます。年間を通して「進んであいさつをする」ことを徹底します。
- ◎「特別の教科 道徳」では、他者を思いやる心を育てることを重点項目として指導し、「考え、話し合う道徳」の実現を図ります。

(2)【よく考え、最後までやりぬく子】を育てる

- ◎「板橋区授業スタンダード」を徹底し、子供たちが学習の見通しをもち、学び方を身に付け、自力解決ができるようにします。
- ◎ユネスコスクールの使命としての教育理念「学びの4本柱」に取り組みさせます。
 - ・ 知ることを学ぶ ・ 為すこと学ぶ ・ 人間として生きることを学ぶ
 - ・ 共に生きることを学ぶ
- ◎授業力向上に向け、教員は研鑽・研究に励みます。
 - ・ 校内研究では、『持続可能な社会の担い手となる児童の育成』をテーマに各教科で持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するために必要な能力・態度を身に付けさせます。
 - ・ 「基礎的な読む力」を測るテストRST【6年生実施】を活用し、全学年において文章や情報を正確に理解し、論理的思考を行う基礎となる「読み解く力」の向上を図ります。
- ◎一人一台端末を学校や各家庭にて積極的に活用します。端末内のアプリケーションを活用して意見交流や考えの共有を効果的にできるようにし、ドリル教材を用いて基礎的・基本的な知識及び技能の習得を促進させます。
- ◎学校図書館司書や図書ボランティアと連携した読書指導の充実を図り、読書を通して自らの考えを深める学習態度を養い、学ぶ力を総合的に高めていきます。（「本の宝箱」 「緑小おすすめ100」に進んで取り組む児童を育てます。）
- ◎「家庭学習の手引き」「緑の子 学びの宝箱」を活用し、保護者と情報を共有し、家庭学習の習慣づくりを行います。
- ◎朝学習を計画的に行い、基礎学力の定着を図ります。
 - 月曜日（隔週）水曜日・・・読書
 - 火曜日・金曜日・・・1・2年 MIM（めがせ よみめいじん）東京ベーシックドリル Surala-i」等
 - 3・4年 俳句 東京ベーシックドリル Surala-i」NIE 等
 - 5・6年 NIE（新聞活用学習）東京ベーシックドリル Surala-i」等

(3)【健康でたくましい子】を育てる

- ◎休み時間の校庭遊びを推奨し、運動に親しむ態度と運動習慣を醸成します。
 - ・ 大縄とびや短縄とび、マラソン、ラジオ体操の取り組みを計画的に実施します。児童が目標をもち、それに向かって努力していかれるような取り組みにしています。
- ※体育的活動や休み時間の遊びにおいて運動の質的・量的向上を目指します。保健指導、食育に力を入れて取り組み、自分の体を鍛え、自分の体を大切にする子供を育てます。